日 本 図 書 館 情 報 学 会 会 報

No. 192（臨時号）　　2023 年 3 月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）
〒252-0383　神奈川県相模原市南区文京 2-1-1
相模女子大学　金井喜一郎研究室内
（事務局業務に関する問合せ先）
(株)ガリレオ　学会業務情報化センター内　日本図書館情報学会
E-mail：office@jslis.jp　　学会ウェブページ：http://www.jslis.jp/
ゆうちょ銀行　口座番号＝00160-5-0045759　口座名義＝日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行019店　口座番号＝当座0045759　口座名義＝日本図書館情報学会

2023 年度春季研究集会の研究発表申込について

会員各位

会長　岸田 和明

2023 年度の春季研究集会を下記の要領で開催します。研究発表申込の受付を開始しますので，〈発表募集要領〉および〈研究大会・春季研究集会における発表のルールについて〉をよくお読みのうえ，ふるってご応募ください。また，2019 年度から学生会員を対象に発表を行うための交通費等を一部補助する事業を開始しました。該当される会員におかれましては申請ください。最後に，春季研究集会の円滑な運営のため，募集要領，発表ルールの遵守を重ねてお願いいたします。

春季研究集会関係の情報は，学会のホームページでも随時，提供します。

会員多数のご参加をお待ちしております。

記

主催：　日本図書館情報学会
日時：　2023 年 6 月 10 日（土）10:00～18:00（予定）
会場：帝京平成大学　中野キャンパス
　　〒164-8530 東京都中野区中野 4-21-2
　　https://www.thu.ac.jp/access/access_nakano/nakano
アクセス：
・JR「中野駅」北口より徒歩約 9 分

宿泊：会場校での斡旋は行いませんので，各自でご手配ください。
参加費：　正会員・学生会員 無料，非会員 3,000 円（予定）

＜発表募集要領＞

（1）応募資格：日本図書館情報学会の正会員および学生会員（共同発表の場合，筆頭発表者が正会員または学生会員であること）

重要

研究発表の申込は，申込時点で正会員・学生会員である者に限ります。入会が承認されていない場合は，研究発表の申込はできません。未入会の方は，2023 年 3 月 20 日までに入会申込を行い，4 月 1 日時点で会員資格を得ておく必要があります。入会の承認通知が届いた後に，発表の申込をしてください。

（2）発表時間：1 件 30 分（発表時間 20 分，質疑応答 10 分）

（3）発表言語：日本語もしくは英語であること。どちらの言語の場合も，申込，発表論文，発表，記録まで同一言語とすることを条件とします。英語での発表も受け付けますが，多くの聴衆が日本語での発表を期待している現状に鑑み，基本的には日本語での発表が望ましいと考えます。

(4)申込方法：学会ウェブサイトから発表申込申請フォームにアクセスの上，お申し込みください。なお，受理された発表申込は ウェブサイトで公開する予定です。あらかじめご承知おきください。

（5）申込締切：2023 年 4 月 10 日（月）24 時必着

申し込み直後に申込みを受け付けた旨のメールを差し上げます（受理の連絡はまた別途行います）。申し込んだにもかかわらずメールがない場合，トラブルの可能性がありますので，研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までご連絡ください。

（6）発表論文の提出：発表することが決まった場合には，A4 判で 4 枚の発表論文を作成し，2023 年 5 月 10 日（水）までに原稿を研究委員会ウェブサイトに送っていただきます。なお，発表論文提出の締切日は前後することがありますのでご了解ください。発表論文の作成方法などに関しては，発表申込受理者にご連絡いたします。

（7）発表のための機材： パソコンによるディスプレイ（PowerPoint）装置が使用可能です。その他の機材をご要望の場合には，研究委員会（kenkyu@jslis.jp）までお問い合わせください。

（8）優秀発表奨励賞

対象者は第一発表者として口頭発表を行った若手研究者（目安として研究歴 10 年以内）とします。授与のための審査を希望する者は，自己申告（発表申込申請フォームの「優秀発表奨励賞審査希望」にチェック）してください。発表内容，発表技法の観点から，優秀発表奨励賞選考委員会で審査を行った結果，優れた口頭発表を行い，将来の活躍が期待される若手研究者（正会員，学生会員）に授与します。受賞者は，学会ウェブサイト並びに学会誌に掲載される研究大会・春季研究集会概要において公表されます。

（9）交通費等一部補助（2019 年度から開始）

以下の要領で発表を行うための費用補助を行います。希望される方は申請してください。

① 対象者：第一発表者として研究発表（口頭，ポスター）を行う学生会員

② 人数：希望者全員

③ 申請基準

自宅または通学する大学の最寄駅のうち研究集会開催校の最寄駅に近い方を起点として，研究集会開催校の最寄駅まで片道 300km 以上であること。

④ 申請方法

学会発表申請システムの「研究集会参加のための交通費一部補助希望」欄にチェックを入れ，自宅または通学する学校の最寄駅のうち，研究集会開催校の最寄駅に近い方を申告する。

⑤ 補助額：一律 15,000 円

⑥ 支給時期と方法

研究集会で研究発表を確認後，1 週間以内に事務局から振り込む。なお，支給した者に振込確認後，受領書の提出を求める。

⑦ 補助に際してのルール

1) 申請は単年度あたり 1 人 1 回に限る。
2) 研究発表を取りやめた場合は支給しない。
3) 本制度で賄えない残りの交通費等を補うために，併せて他機関から補助を受けることを認める。

＜研究大会・春季研究集会における発表のルールについて＞

研究大会および春季研究集会は次のようなルールの下に統一的に運用されています。発表希望者はルールをご確認のうえ，発表申込をしてください。

(1) 個人会員（正会員・学生会員）は研究大会および春季研究集会において同様に発表の権利をもつ。
(2) 研究発表は他で公表していないオリジナルなものに限るものとする。
(3) 個人会員が一度の研究大会あるいは春季研究集会において個人発表および共同発表の筆頭発表者となることは，合わせて 1 回を原則とする。
(4) 共同研究の第一発表者は個人会員でなければならない。
(5) 発表論文の原稿は，発表内容を論文の形式で記述するものとする。
(6) 発表者は発表申込申請フォームから発表論文をアップロードする際，本学会が教育・研究の目的で発表論文を印刷物およびウェブ等の電子メディアで使用することを許諾するものとする。
(7) 指定の期日までに発表論文を提出しなかった者は，発表を取り下げたものとみなす。
(8) 発表申請受理後のプログラム(発表タイトル，発表者，発表内容，発表スケジュール)の変更は原則として認めない。
(9) 発表申込，発表論文作成，発表，発表後の抄録提出は同一言語で行うこととする。その際の言語は，日本語もしくは英語で行うものとする。
(10) 発表当日の資料配布は，原則認めない。何らかの理由で資料配布を希望する場合は，発表当日の 1 週間前までに研究委員会宛に，資料に配布の理由を添えて申請し，許諾を得る。資料配布が認められた場合は，印刷，配布および回収は発表者自身で責任をもって行う。

＜発表者への諸注意＞

(1) 発表会場へは遅くとも，セッションの始まる 10 分前には到着するようにしてください。
(2) 会場の備え付けの発表用PCに発表用ファイルをコピーしてください。また，セッションを円滑に進行するため，発表者は会場前方に着席してください。
(3) 本学会発表では，原則として会場に備え付けのPCでの発表としています。これまで発表申込時に事前申請を行うことで持ち込みPCのつなぎかえを認めていましたが，<u>今回の春季研究集会では会</u>

場校の設備の都合上，持ち込みPCのつなぎかえはできません。ご注意ください。

※ 発表論文集は正会員および学生会員には無償で頒布します。希望者は研究集会終了後 3 か月以内にレターパックライト（370 円）を会場校担当者（人文社会学部 間部 豊）宛てに郵送してください。到着次第，順次返送します。非会員の方は下記連絡先にご一報下さい。研究集会終了後に振込先の連絡を差し上げますので，2 週間以内に参加費 3,000 円と郵送料（レターパックライト 370 円）との合計額を指定の口座にお振り込みください。入金が確認され次第，発表論文集を送付します。

連絡先：研究委員会（kenkyu@jslis.jp）
件名は「春季研究集会発表論文集頒布希望」としてください。

臨時シンポジウム「大学図書館員の専門性とは」の開催

3月4日（土）午後，日本図書館協会会館2階研修室にて，臨時シンポジウム「大学図書館員の専門性とは」を開催しました（共催：日本図書館協会図書館情報学教育部会）。オンラインを併用し，参加者は107名に上りました（このうち，会場参加者が19名，オンライン参加者が88名でした）。ご参加の皆さま，ありがとうございました。

当日の記録については，2023年度中に『日本図書館情報学会誌』に掲載する予定です。また，当日のZoom映像についても，近日中に，期間を限定して学会ウェブサイト上で公開する方向で進めております。公開の態勢が整いましたら，改めて学会メーリングリストなどで周知いたします。

学会刊行物総目次の公開について

日本図書館情報学会常任理事会では，総会での要望に対応するため，春季研究集会ならびに研究大会について，発表要綱集・発表論文集の総目次の作成を進めて参りました。このたび，以下の刊行物について総目次データがまとまりました（作成協力：実践女子大学図書館・伊藤民雄氏）。

・春季研究集会ならびに研究大会の発表要綱集・発表論文集
・『論集・図書館学研究の歩み』
・『論集・図書館情報学研究の歩み』
・『シリーズ・図書館情報学のフロンティア』
・『わかる！図書館情報学シリーズ』

これらの総目次データについて学会ウェブページで公開の上，提供いたします。研究用途，教育用途や各種の情報検索システム構築のために自由にご活用ください。（可能であれば，ご利用頂いたことを発表資料等でご紹介頂くか，学会事務局までご一報いただければ幸いです）。
また，実践女子大学・実践女子短期大学部図書館が運営するBIBLIS PLUS（URL: https://www.jissen.ac.jp/library/search/biblisplus/index.html）では，発表要綱集ならびに発表論文集

に掲載された論文が検索できるようになっています。こちらも合わせてご活用下さい。

今後，発表要綱集・発表論文集の本文についても直近のものについて電子化を行い，公開する予定です。引き続き，常任理事会では研究活動促進のための作業を進めて参ります。

（常任理事会）

役員会等の記録（訂正）

前号No. 191号に掲載した2022 年度第 2 回理事会（議事抄録）について，以下の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】

7. 役員の改選

資料に基づいて会員集会の次第が確認された。

【正】

7. 2022年度会員集会の次第

資料に基づいて会員集会の次第が確認された。